

佐野市景況レポート

平成28年7～9月期



佐野商工会議所

〒327-0027 佐野市大和町 2687-1

TEL 0283 (22) 5511 FAX 0283 (22) 5517

HP <http://www.sanocci.or.jp>

E-mail s-cci@sanocci.or.jp

調査協力：佐野市あそ商工会

佐野市景況調査報告

(平成28年7～9月期)

佐野市内の建設業・製造業・商業・飲食店・サービス業290社を対象に調査し、207社(回答率71.37%)から回答がありましたものを取りまとめたものです。

《 概 況 》

業況改善となるも閉塞感

「薄皮饅頭」で知られる柏屋本店(郡山市)の朝茶会に参加しました。毎月1日の早朝(6～8時)に、薄皮饅頭・季節のお菓子とお茶が無料で振舞われるお茶会で、毎回300～400人が参加されます。参加の条件は、「おはよう！」の元気な挨拶だけで、だれでも参加できます。会場は40席程度ですので、相席になります。一人で参加された方も友達ができるようにと、社長の巧みな席誘導と社員のすばやい対応により、2時間で7～10回転を確保します。開店(6時)の10分前には、100人近い列ができており、「今月のお菓子は何かな・・・」などと、楽しげな会話があちこちから聞こえてきます。

柏屋の朝茶会は、昭和49年より42年間、元旦を除く毎月1日に休みなく続けてきました。唯一、東日本大震災時に三回休みました。工場・店舗の被災、放射能汚染の恐怖の中、被災後4カ月で再開することができました。「震災直後は、工場も物流もストップし、何も作れない状況で、売上高がゼロになった時の恐怖は忘れられない」と社長は話す。震災直後の混乱時、恐怖の中で、なぜ、売上高確保より朝茶会を優先し開催したのか？我々に、企業の在り方を考えさせるようです。柏屋は創業以来、地域・顧客にできることをごく自然に実施しており、地域貢献の概念はありません。「餡は皮で包むものではなく、真心で包む」という初代からの伝統を165年間脈々と守り続けています。「まごころ」(他人のために尽くそうという純粋な気持ち)と地域と支え合う関係が長寿企業の秘訣かもしれません。

佐野市景況レポート(平成28年7～9月期実績)をみると、全業種業況DI指数は▲19.5、前期(4-6月期)比+6.9ポイントの業況改善となった。利益DI指数は▲29.0(前期比▲0.1)、売上高DI指数は▲25.7(前期比+1.9)、販売価格DI指数は▲9.5(前期比+0.1)、仕入価格DI指数は7.4(前期比+0.2)となった。つまり、前期に比べ、売上高が微増したことにより業況感が改善。一方、原料・仕入価格と販売価格は前期並みのため、利益状況は前期並みとなった。

今後3ヶ月間(平成28年10～12月見通し)をみると、全業種業況DI指数は▲10.9(前期比+5.3)と、今後3か月間の業況予想は、9月期実績▲19.5に比べ、大幅な改善を予想している。予想売上高DI指数は▲10.2(前期比+2.4)、予想仕入価格DI指数は4.8(前期比▲3.8)、販売価格DI指数は▲7.3(前期比+1.8)と、仕入価格は低下、販売価格は上昇、売上高増加と、業況の改善を予想している。

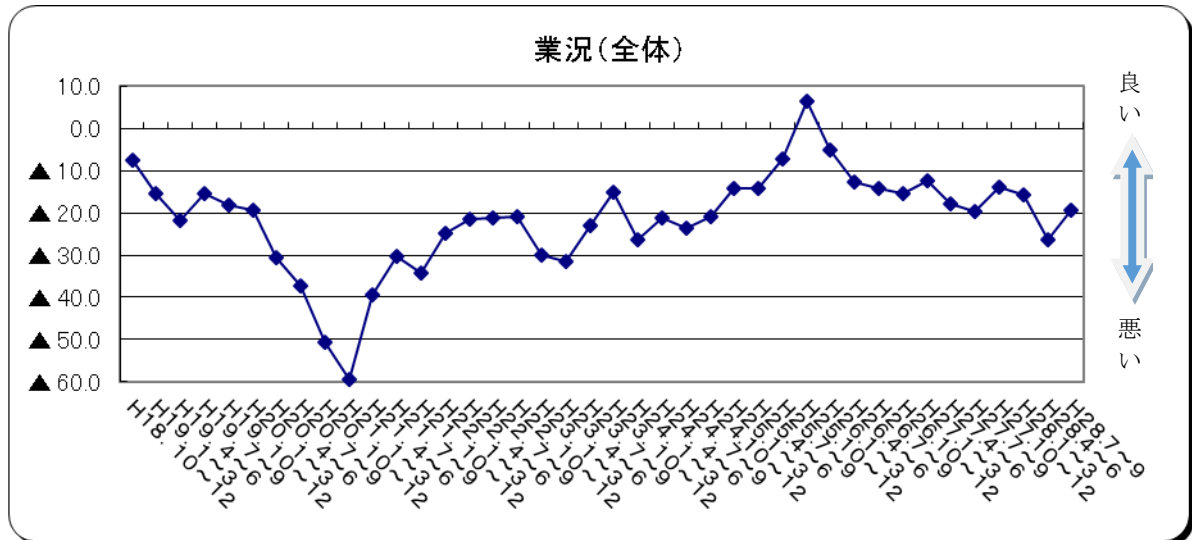
事業所の景況コメントを見ると、「景気低迷」「将来に不安」「天候不順」「労働力不足」等、閉塞感のあるキーワードが多く挙げられ、業況改善とは言いにくい景況感である。

☆ 現在の業況について（平成 28 年 7～9 月期実績）

全業種 DI 指数▲19.5、前期比 6.9 ポイント改善

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

- ①食品製造業 10.0 ポイント、②建設業▲7.7 ポイント、③卸売業▲8.1 ポイント、
④機械・金属製造業▲12.5 ポイント、⑤化学・プラスチック製造業▲18.8 ポイント



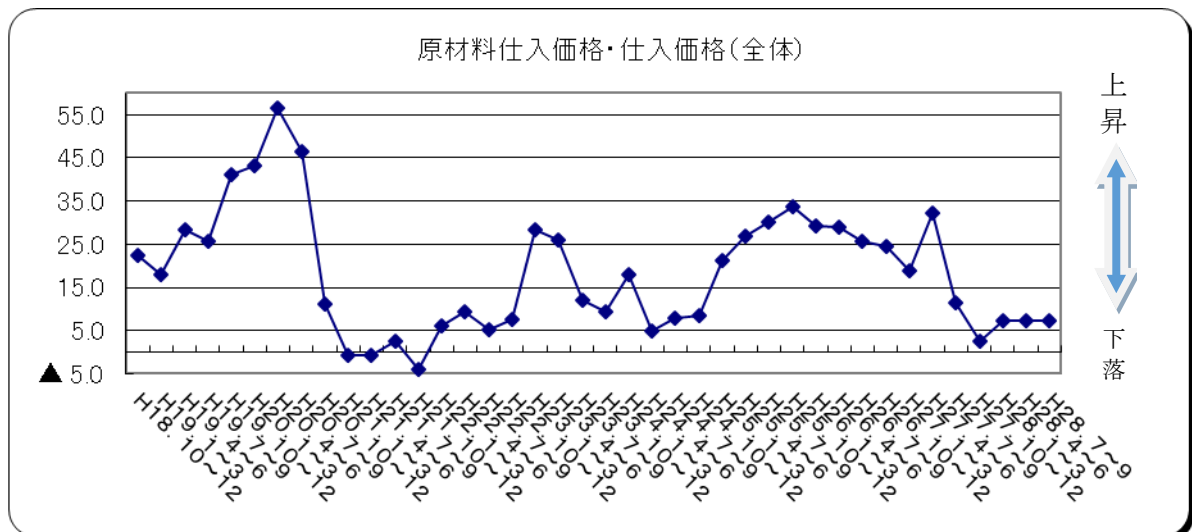
※ 折れ線グラフは、過去 10 年間のデータを表示した。

☆ 原材料仕入価格・仕入価格について（平成 28 年 7～9 月期実績）

全業種 DI 指数 7.4、前期比 0.2 ポイント上昇

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

- ①飲食店 29.4 ポイント、②サービス業 13.8 ポイント、③設備業 11.1 ポイント、
④卸売業 8.1 ポイント、⑤建設業 7.7 ポイント

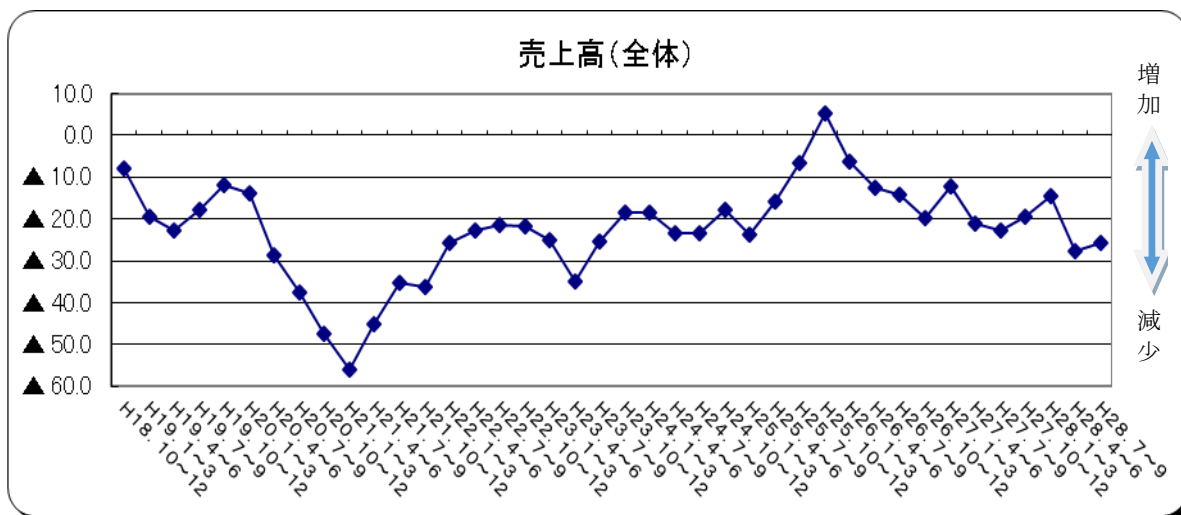


☆ 売上高について（平成 28 年 7～9 月期実績）

全業種 DI 指数▲25.7、前期比 1.9 ポイント上昇

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

- ①食品製造業 0.0 ポイント、②建設業▲15.8 ポイント、③卸売業▲16.7 ポイント、
- ④化学・プラスチック製造業▲19.1 ポイント、⑤飲食店▲24.0 ポイント

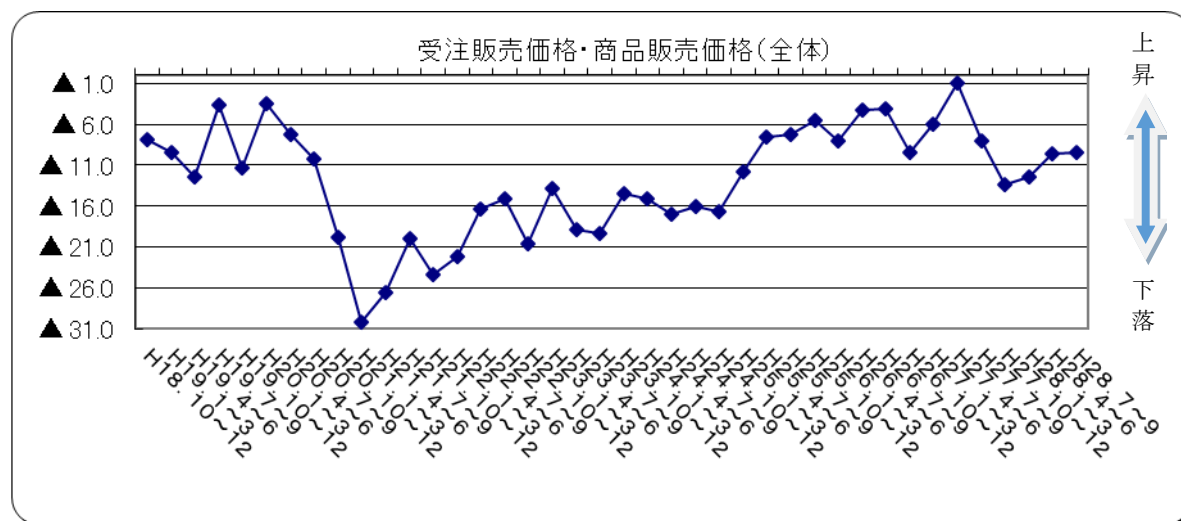


☆ 受注販売価格・商品販売価格について（平成 28 年 7～9 月期実績）

全業種 DI 指数▲9.5、前期比 0.1 ポイント上昇

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

- ①サービス業 4.6 ポイント、②建設業及びその他の製造業、飲食店 0.0 ポイント、
- ⑤食品製造業▲4.8 ポイント

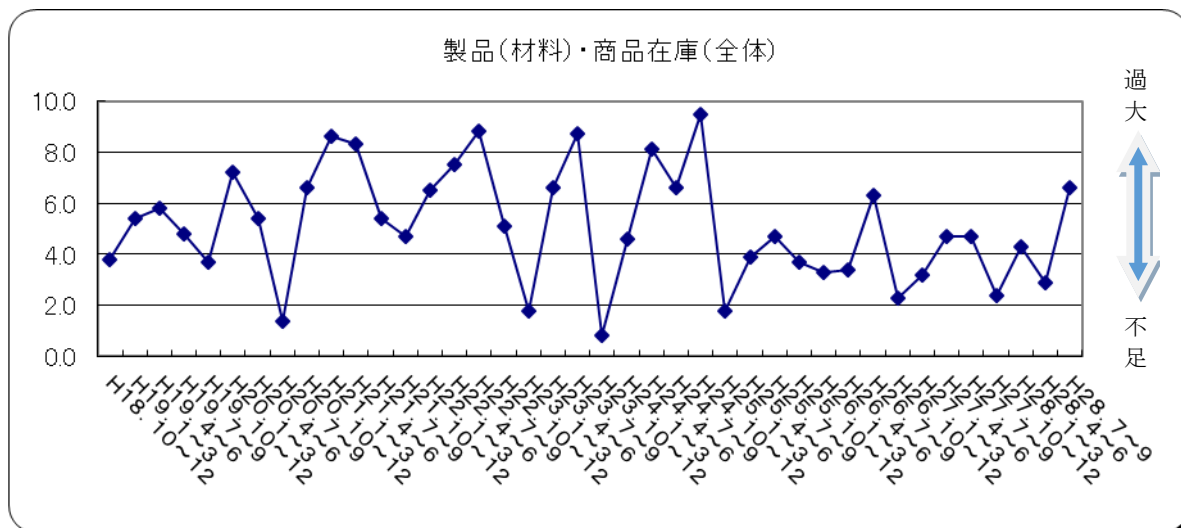


☆ 製品（材料）在庫・商品在庫について（平成28年7～9月期実績）

全業種DI指数 6.6、前期比 3.7ポイント上昇

業種別DI指数（上位5業種）

- ①機械・金属製造業 22.1ポイント、②繊維製造業 20.7ポイント、③その他の製造業及び小売業（飲・食料品）20.0ポイント、⑤食品製造業 9.7ポイント

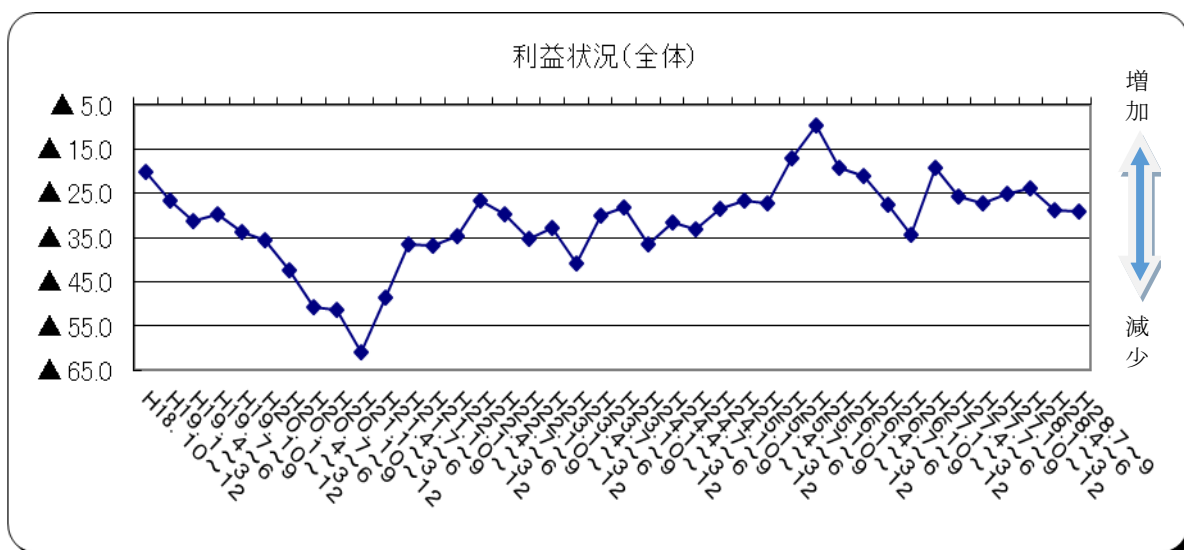


☆ 利益状況について（平成28年7～9月期実績）

全業種DI指数▲29.0、前期比 0.1ポイント低下

業種別DI指数（上位5業種）

- ①食品製造業▲5.1ポイント、②飲食店▲5.9ポイント、③卸売業▲16.7ポイント、④その他製造業▲21.4ポイント、⑤建設業▲24.3ポイント



☆ 資金繰りについて（平成 28 年 7～9 月期実績）

全業種 DI 指数▲13.9、前期比 1.8 ポイント低下

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

- ①卸売業 33.3 ポイント、②食品製造業及びその他の製造業 0.0 ポイント、④繊維品製造業▲10.0 ポイント、⑤設備業▲17.6 ポイント

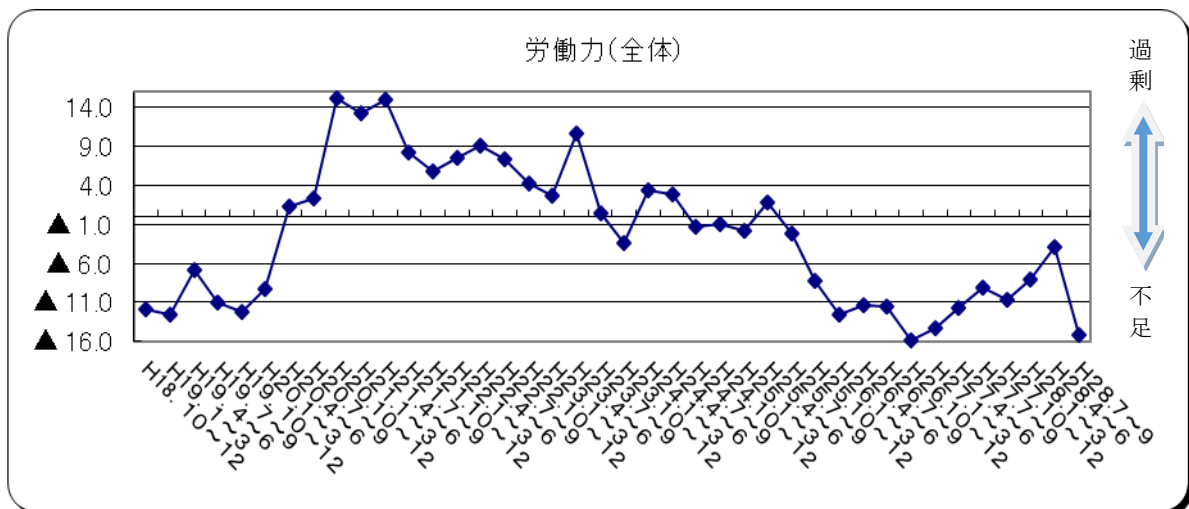


☆ 労働力について（平成 28 年 7～9 月期実績）

全業種 DI 指数▲15.1、前期比 11.2 ポイント低下

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

- ①機械・金属製造業 3.1 ポイント、②その他の製造業及び小売業（飲・食料品）0.0 ポイント、④飲食店▲5.5 ポイント、⑤卸売業▲8.6 ポイント

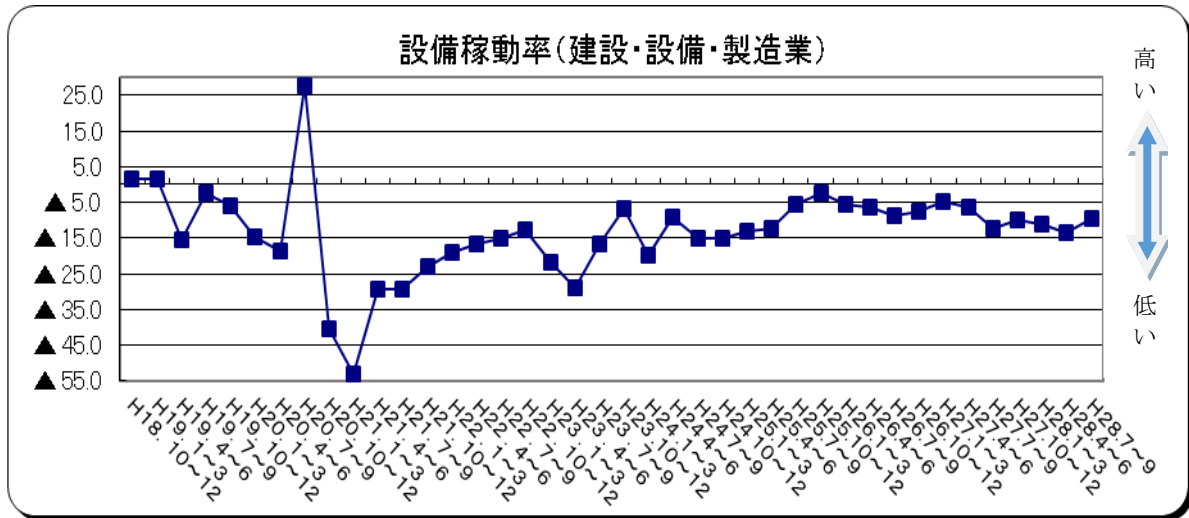


☆ 設備稼働率について（平成 28 年 7～9 月期実績）
（建設・設備・製造業関係）

全業種 DI 指数▲9.6、前期比 2.3 ポイント低下

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

- ①食品製造業 5.3 ポイント、②設備業▲5.7 ポイント、③化学・プラスチック製造業▲6.0 ポイント、④建設業▲7.7 ポイント、⑤繊維品製造業▲15.3 ポイント

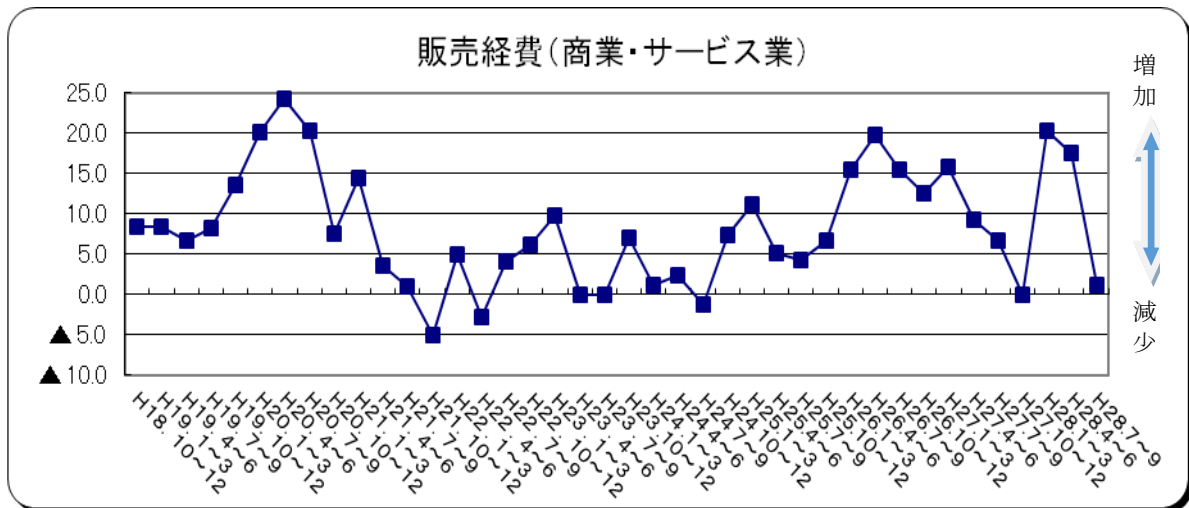


☆ 販売経費について（平成 28 年 7～9 月期実績）（商業・サービス業関係）

全業種 DI 指数 1.2、前期比 2.7 ポイント低下

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

- ①小売業（飲・食料品）42.9 ポイント、②卸売業 24.3 ポイント、③飲食店 0.0 ポイント、④その他小売業（大型店含む）▲10.0 ポイント、⑤サービス業▲18.8 ポイント

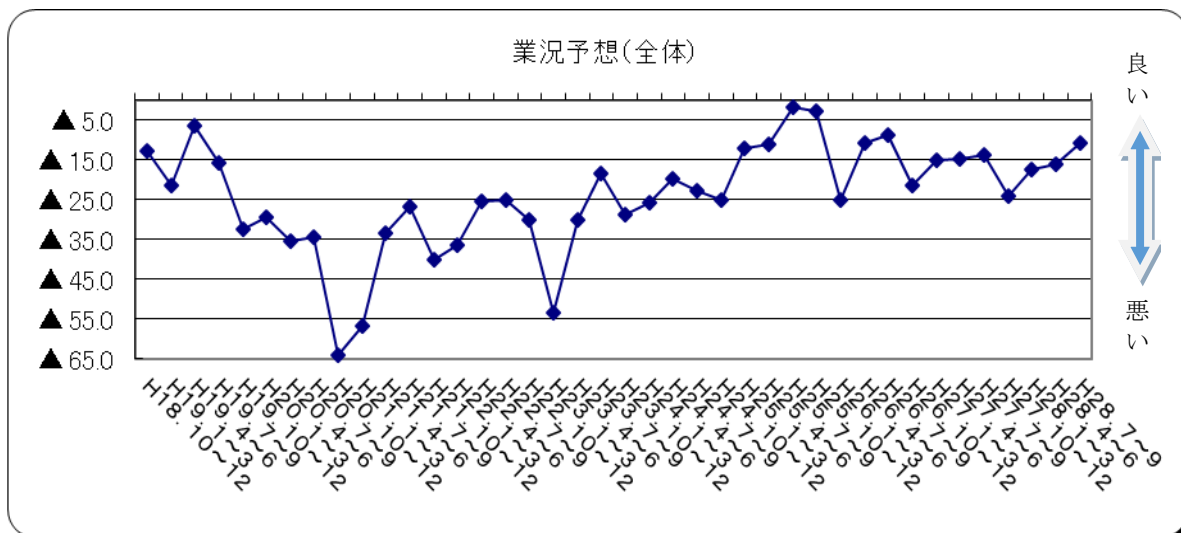


☆ 今後3ヶ月先（平成28年10～12月期の見通し）の業況について

全業種DI指数▲10.9、前期比5.3ポイント改善

業種別DI指数（上位5業種）

- ①その他の製造業 10.3ポイント、②食品製造業 10.0ポイント、③卸売業及びサービス業 0.0ポイント、⑤建設業▲8.6ポイント

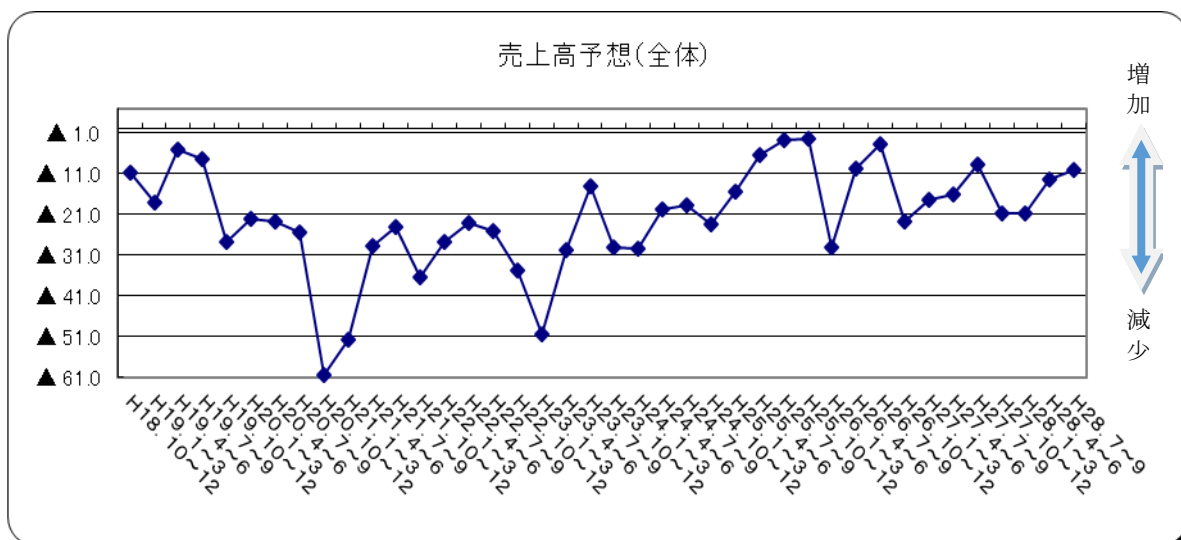


☆ 今後3ヶ月先（平成28年10～12月期の見通し）の売上高について

全業種DI指数▲10.2、前期比2.4ポイント上昇

業種別DI指数（上位5業種）

- ①サービス業 4.9ポイント、②食品製造業及び化学・プラスチック製造業、その他の製造業、飲食店 0.0ポイント

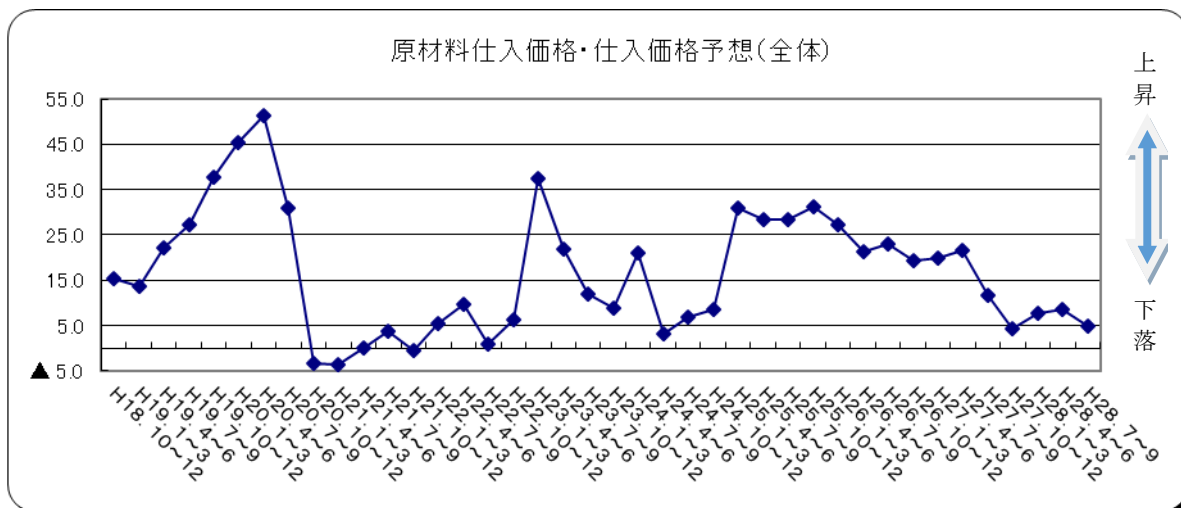


☆ 今後3ヶ月先（平成28年10～12月期の見通し）の原材料仕入価格・仕入価格について

全業種DI指数4.8、前期比3.8ポイント低下

業種別DI指数（上位5業種）

- ①飲食店 29.4ポイント、②小売業（飲・食料品）20.0ポイント、③その他の製造業 10.3ポイント、④繊維品製造業 10.0ポイント、⑤サービス業 9.1ポイント

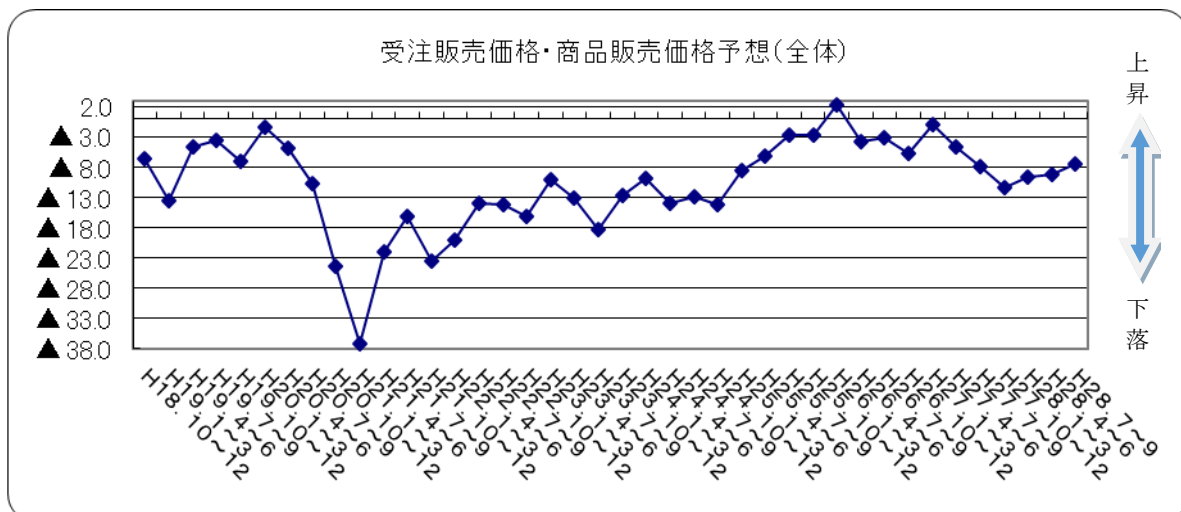


☆ 今後3ヶ月先（平成28年10～12月期の見通し）の受注販売価格・商品販売価格について

全業種DI指数▲7.3、前期比1.8ポイント上昇

業種別DI指数（上位5業種）

- ①食品製造業及びその他の製造業、飲食店、サービス業 0.0ポイント、⑤繊維品製造業 ▲4.8ポイント



☆ 市内各事業所からの景況に関するコメント ☆

※景況調査にご協力いただきました事業所のうち、「景気に対するコメント欄」にご記入いただいた内容を、そのまま掲載しております。

建設業

- ・コメントなし。

設備工事業

- ・コメントなし。

繊維品製造業

- ・コメントなし。

食品製造業

- ・活気ある街作りの為に精進します。しかし、シャッター街になってしまうのかと不安です。
- ・天候不順（台風）の為に、売上げが減少。
- ・景況は良くなく、「薄利多売」な生産体制を続けている。高級品との2極化は終わりを告げつつあり、景況回復は先が見えない…。
- ・台風の影響で、北海道の原産の農産物が非常に高騰になっている。商品の原価の値上げを考えている。
- ・原料比率が下がって来ました。

機械・金属製品製造業

- ・目先が見えるが、予想が先きがわからない。
- ・鉄鋼メーカーの値上げが強行されて需要不振の中、流通は転嫁出来ず、採算の悪化で苦境にさらされている。
- ・「もちあい」という言葉は、あまり適さないと思うのですが…。
- ・新業界全体が低迷。28年度補正予算に期待。
- ・特にありません。
- ・年初計画で予定していた新規取引先からの受注が見込みを大幅に下まわって推移する為、下降となる。(売上等)
- ・鋼製造業の将来に不安。

化学・プラスチック製品製造業

- ・大型企業の近県創業開始が多いが、景気とは関係なく、仕事が多くて景気がよいのではなく、金利等の影響であって、同企業でも決して好景気とはいえない状況です。
- ・毎年下期(11月～4月)に受注が増えていく傾向だが、今年はその気配が感じられない。

- ・生産時間 14 時間。使用人はいません。
- ・重電機関係部品は、災害や東京オリンピックに向け需要がのびるのでは？

その他の製造業

- ・仕入品はほとんど輸入なので影響はありますが、国内の景気があまり良くないので、値上げ出来ない様です。
- ・着実？に景気は落ち込んできているように思われます。

卸売業

- ・賃上げ、増税よりも、中小企業に対する景気対策が優先だと思います。業績が上がらなければ、賃上げできず、税は払えず。
- ・当社の業界はデフレが止まらない。

小売業（飲・食料品）

- ・今年は台風により大雨等で御来店の御客様の減少、また真夏日等により、売上が少ない様です。天気のせいにしてはいけないのですが、異常気象（？）に左右されるようです。
- ・依然景気は悪いようで、売上げは年々減少している。生活に必要な嗜好品は厳しい状況にある。この状況を打破するには何か？新製品を造っているが、なかなか売上げにつながらない。

その他の小売業（大型店含む）

- ・天候不順。
- ・7～8 月は不安定な気温で売上悪かったが、9 月度は、売上上々になった。
- ・季節的要因。
- ・消費人口の減少により売上も減少。

飲食店

- ・いつも遅くなってしまいすみません。
- ・政府は国民目線で景気の判断をしてほしい。

サービス業

- ・①売上と利益増は特需によるものであり、景況は変わらず低迷しています。
- ・②労働力不足が慢性化しつつあります。
- ・在庫不足が続くが、仕入の努力を続ける中で、チャンスを活かせる状況が回ってくると思います。
- ・9 月の長雨で客数がだいぶ減った。
- ・建築計画の相談は有るが、計画で終わり。実行しない事が多い。
- ・東京方面では上昇の様子ですが地方はまだまだです。

佐野市景況調査 要項

- 1 調査時期 平成28年7月～9月
- 2 調査業種 佐野市内に本支店を有する建設業・製造業・商業・サービス業・飲食店など290社（内訳：佐野商工会議所地区（旧佐野市）200社、佐野市あそ商工会地区（旧田沼町・旧葛生町）90社）を対象として実施した。

(1) 建設業

① 建設業	25社
② 設備工事業	21社

(2) 製造業

① 繊維品製造業	22社
② 食品製造業	18社
③ 機械・金属製品製造業	40社
④ 化学・プラスチック製品製造業	36社
⑤ その他の製造業	22社

(3) 商業・サービス業

① 卸売業	15社
② 小売業（飲・食料品）	23社
③ その他の小売業（大型店含む）	27社
④ 飲食店	19社
⑤ サービス業	22社

3 分析方法[景況動向指数（D I）による]

景況指数は、好況・不況の差を指数にしたものであり、基準指数が「0」で上限限度は、+100・-100となり、プラスは景況の好転、マイナスは景況の悪化をあらわしている。

D I 方式は、
$$\frac{3x - 3z}{3x + 4y + 3z} \times 100$$
により算出

x：「良い」「増加」「騰貴」「過多」等の回答企業数

y：「普通」「ほぼ同様」「適正」の回答企業数

z：「悪い」「減少」「下落」「不足」等の回答企業数

- 4 主 管 佐野商工会議所
- 5 調査協力 佐野市あそ商工会
- 6 お問合先 佐野商工会議所経営支援課 TEL（代表）0283-22-5511

